

絶縁油のPCB混入の有無について

(株)新愛知電機製作所
機器技術開発部

日頃は当社製品をご愛顧いただきありがとうございます。

(株)愛知電機製作所製の高圧機器(高圧油遮断器、高圧油開閉器等)に使用しています絶縁油についてご報告させていただきます。

当社に於いてご納入および交換させて頂いた絶縁油については、PCB入りでない新油を使用しておりますので高濃度のPCBが混入している可能性はありません。

しかしながら近年PCBを使用されていないとされてきた重電機器からも一部微量のPCBが含まれていることが報告されています。

微量のPCBが混入する可能性は下記の通りです。

絶縁油の製造段階において、再生絶縁油製造設備と新油絶縁油製造設備を共用した場合があり、新油にPCBが混入した可能性がある。

再生油の製造が開始された1954年から中止された1990年までの間に製造された絶縁油には微量PCBの混入の可能性は否定できないと報告されています。

また製造から出荷、保守点検の工程の中で混入する経緯や可能性については把握できておりません。

油入機器は、構造上輸送中に油漏れの恐れがあるため絶縁油を本体に注入せずに出荷していました。絶縁油は付属品のオプションとして取り扱われていたため、ご要望に応じて付属していましたが、一般的には当社では付属せずお客様にて購入されて注入していただいていたいました。

また絶縁油は、据え付け後の保守点検時、定期的に交換する性質の物であるため途中で交換されている可能性が高いと考えられます。

したがって絶縁油の入手経路をご確認頂き、初期に注入された業者又は途中で交換された業者に確認していただく必要があります。

上記のことから微量PCBの混入の可能性を完全には否定できないのが現状です。

以上